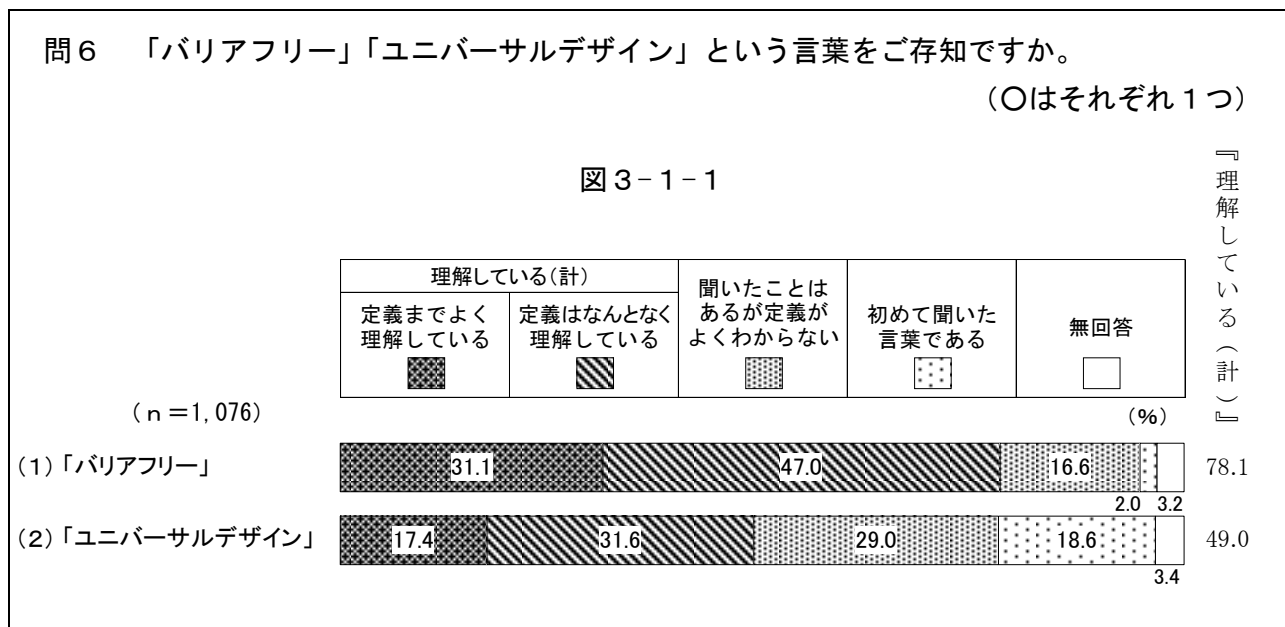


《基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

3. バリアフリー・ユニバーサルデザイン

(1) 「バリアフリー」、「ユニバーサルデザイン」の認知度

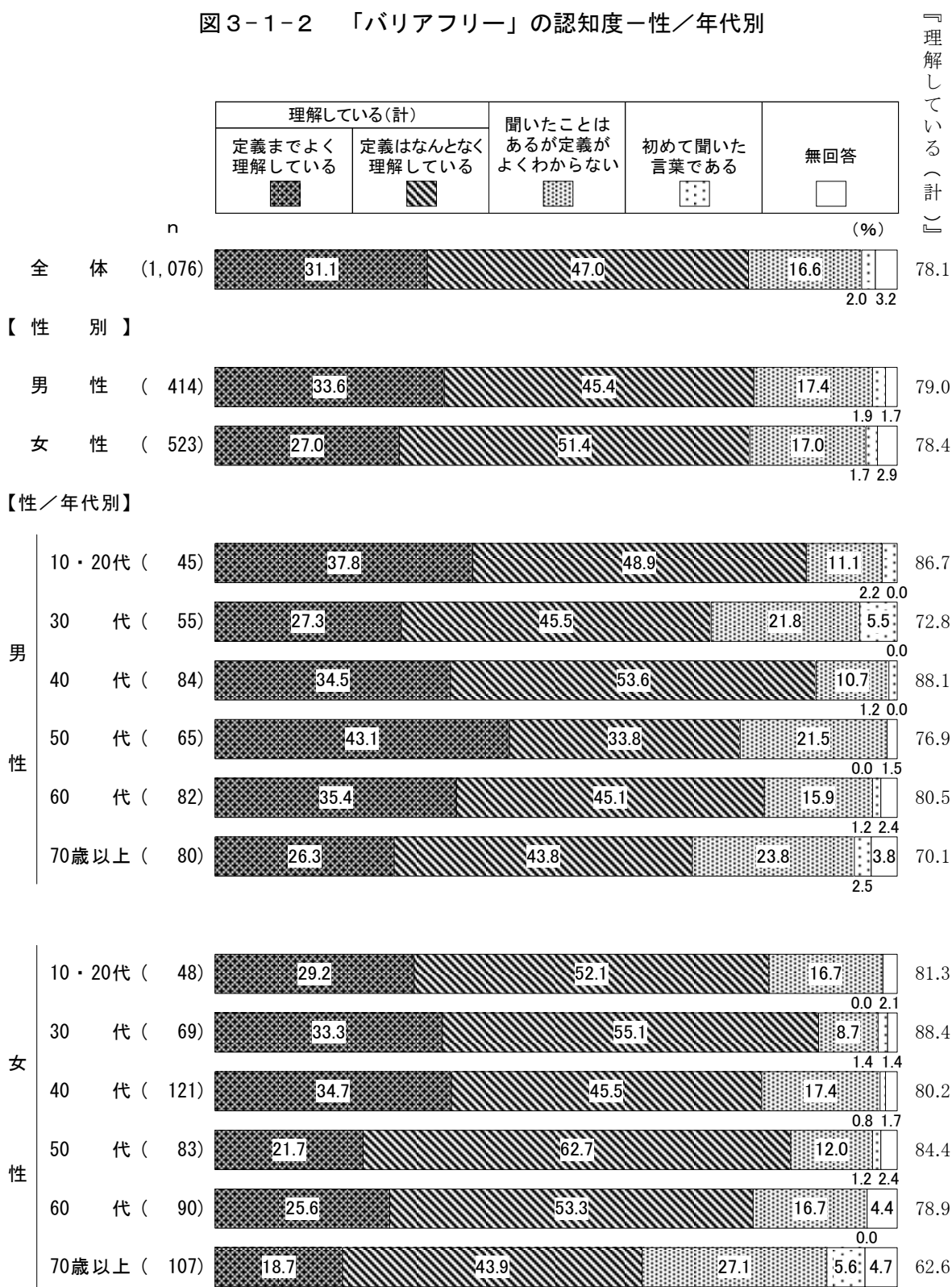
◇「定義までよく理解している」と「定義はなんとなく理解している」を合わせた『理解している(計)』は「バリアフリー」が8割近く、「ユニバーサルデザイン」が約5割



「バリアフリー」という言葉を知っているか聞いたところ、「定義はなんとなく理解している」(47.0%)が5割近くで最も高く、これに「定義までよく理解している」(31.1%)を合わせた『理解している(計)』(78.1%)は8割近くとなっている。「聞いたことはあるが定義がよくわからない」(16.6%)は2割近くとなっている。

「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っているか聞いたところ、「定義はなんとなく理解している」(31.6%)が3割を超えて最も高く、これに「定義までよく理解している」(17.4%)を合わせた『理解している(計)』(49.0%)は約5割となっている。「聞いたことはあるが定義がよくわからない」(29.0%)は約3割で、「初めて聞いた言葉である」(18.6%)は2割近くとなっている。(図3-1-1)

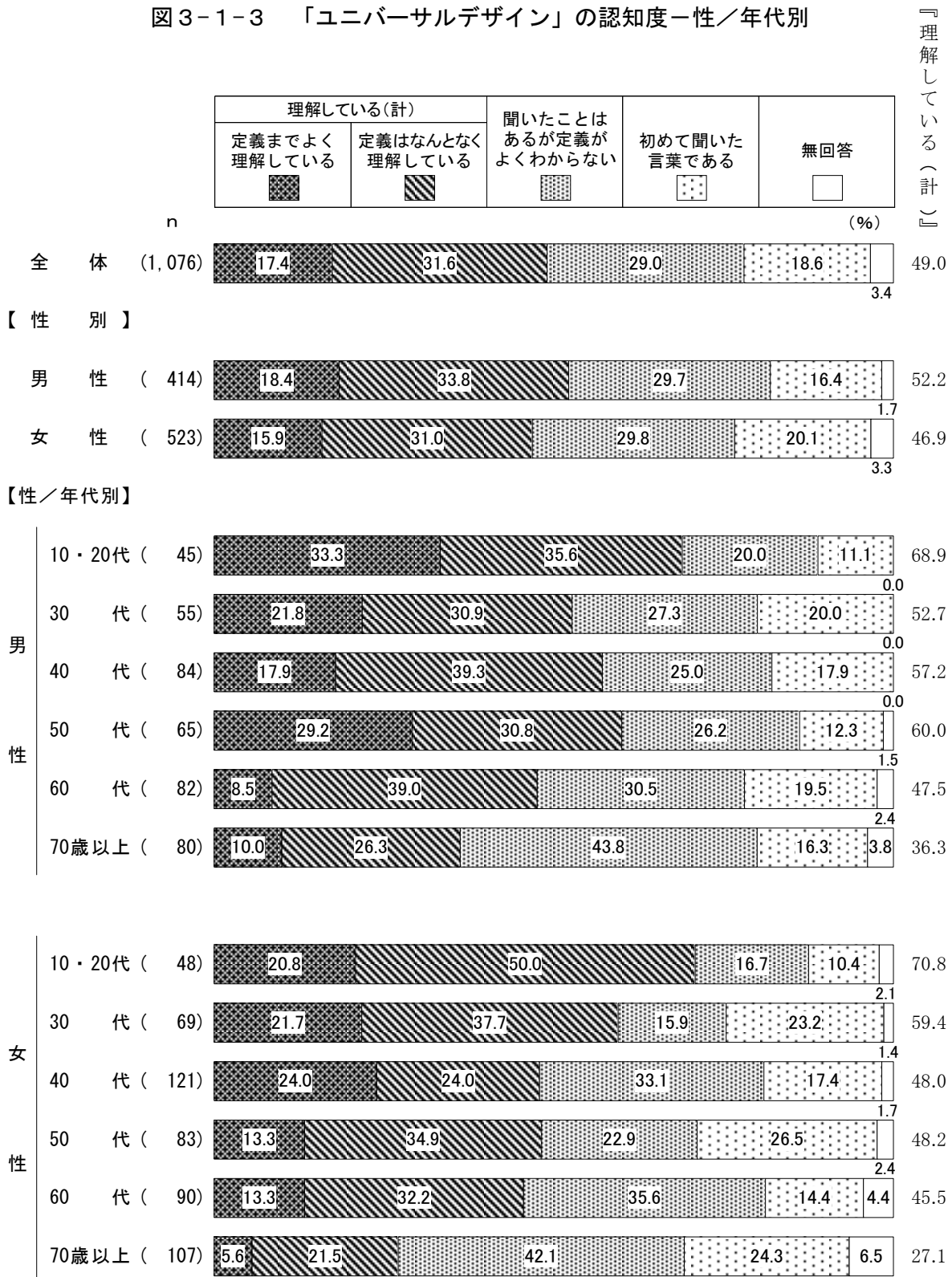
図3-1-2 「バリアフリー」の認知度—性／年代別



「バリアフリー」の認知度を性別で見ると、「定義までよく理解している」は男性（33.6%）が女性（27.0%）より6.6ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『理解している（計）』は女性30代（88.4%）、男性の10・20代（86.7%）と40代（88.1%）で9割近くと高くなっている。「聞いたことはあるが定義がよくわからない」は女性70歳以上（27.1%）で3割近くと高くなっている。（図3-1-2）

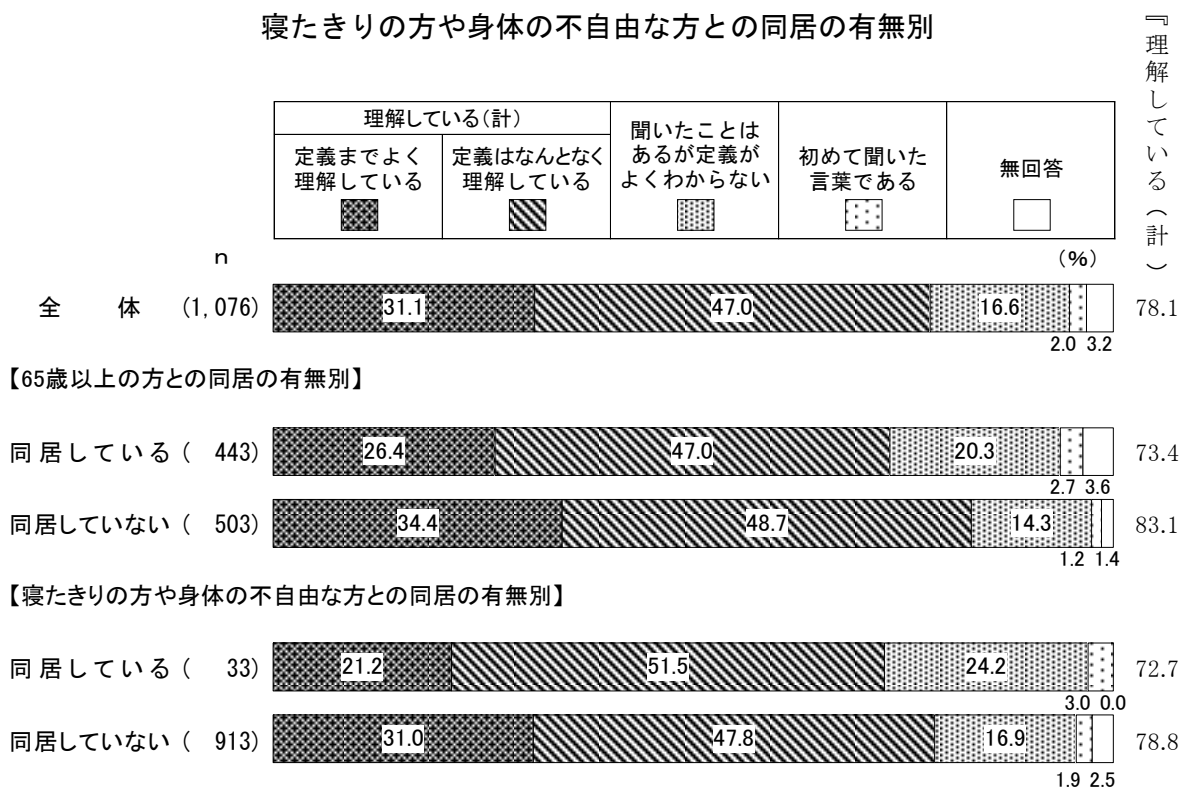
図3-1-3 「ユニバーサルデザイン」の認知度—性／年代別



「ユニバーサルデザイン」の認知度を性別で見ると、『理解している(計)』は男性(52.2%)が女性(46.9%)より5.3ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『理解している(計)』は女性10・20代(70.8%)と男性10・20代(68.9%)で7割前後と高くなっている。「聞いたことはあるが定義がよくわからない」は男性70歳以上(43.8%)と女性70歳以上(42.1%)で4割を超えて高くなっている。「初めて聞いた言葉である」は女性50代(26.5%)で3割近くと高くなっている。(図3-1-3)

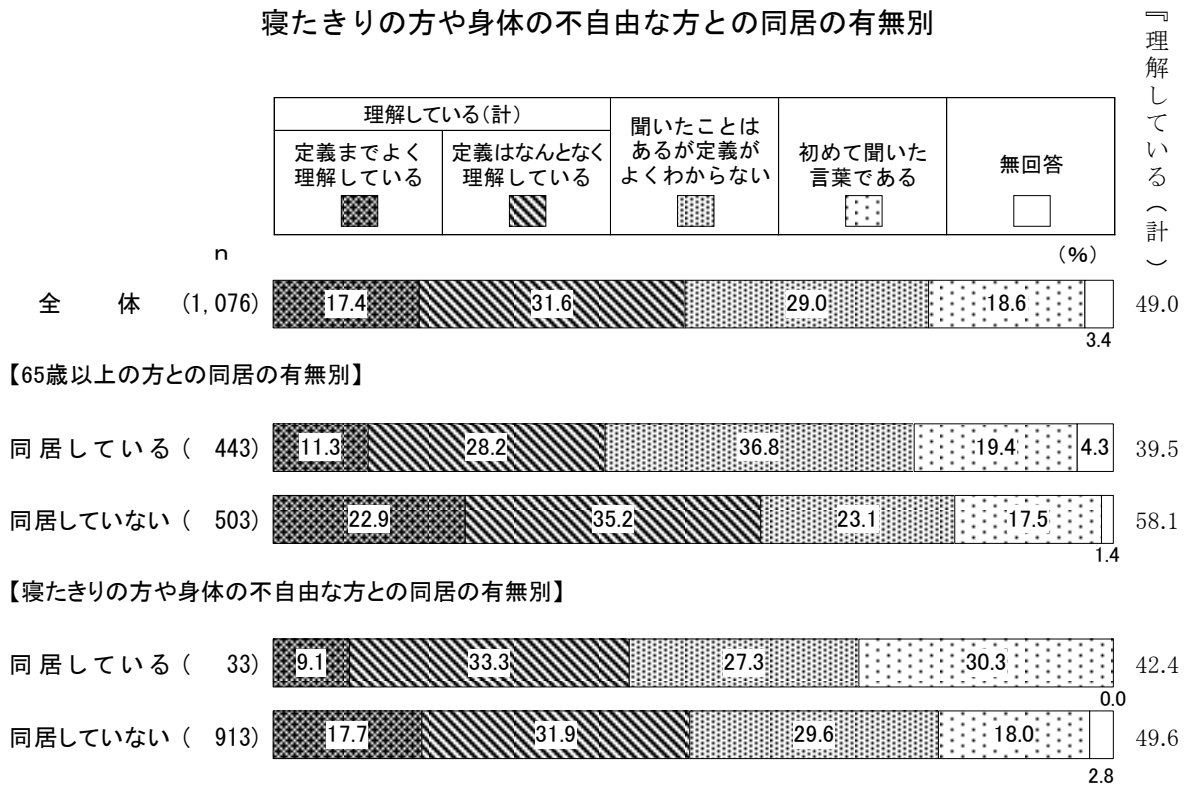
図3-1-4 「バリアフリー」の認知度—65歳以上の方との同居の有無別、
寝たきりの方や身体の不自由な方との同居の有無別



「バリアフリー」の認知度を65歳以上の方との同居の有無別でみると、『理解している(計)』は同居していない人(83.1%)が同居している人(73.4%)より9.7ポイント高くなっている。「聞いたことはあるが定義がよくわからない」は同居している人(20.3%)が同居していない人(14.3%)より6.0ポイント高くなっている。

寝たきりの方や身体の不自由な方との同居の有無別でみると、『理解している(計)』は同居していない人(78.8%)が同居している人(72.7%)より6.1ポイント高くなっている。「聞いたことはあるが定義がよくわからない」は同居している人(24.2%)が同居していない人(16.9%)より7.3ポイント高くなっている。(図3-1-4)

図3-1-5 「ユニバーサルデザイン」の認知度—65歳以上の方との同居の有無別、
寝たきりの方や身体の不自由な方との同居の有無別



「ユニバーサルデザイン」の認知度を65歳以上の方との同居の有無別でみると、『理解している(計)』は同居していない人(58.1%)が同居している人(39.5%)より18.6ポイント高くなっている。「聞いたことはあるが定義がよくわからない」は同居している人(36.8%)が同居していない人(23.1%)より13.7ポイント高くなっている。

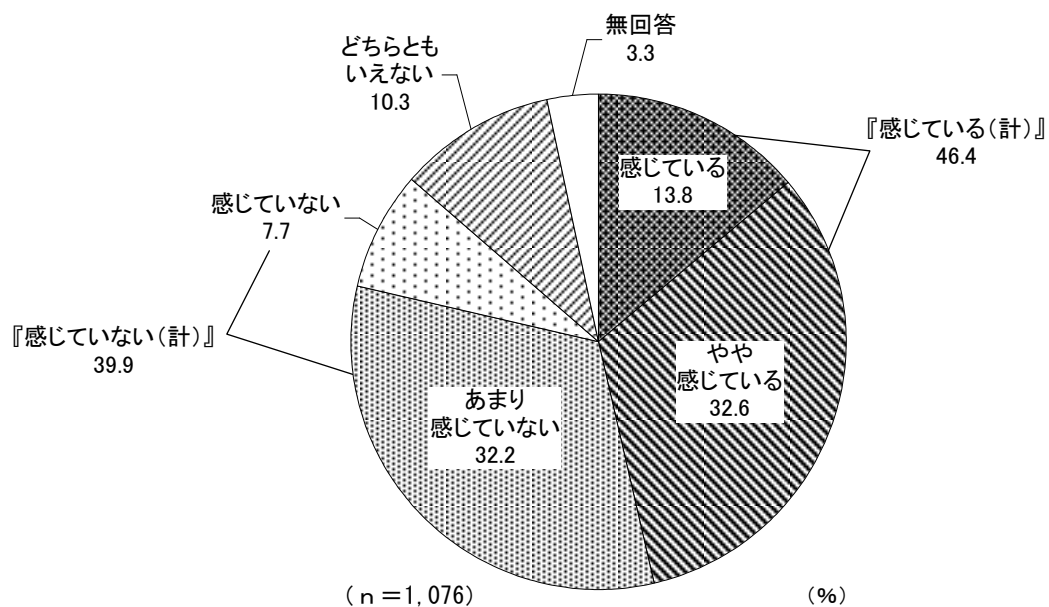
寝たきりの方や身体の不自由な方との同居の有無別でみると、『理解している(計)』は同居していない人(49.6%)が同居している人(42.4%)より7.2ポイント高くなっている。「初めて聞いた言葉である」は同居している人(30.3%)が同居していない人(18.0%)より12.3ポイント高くなっている。(図3-1-5)

(2) 駅周辺のバリアフリー化

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は4割半ば

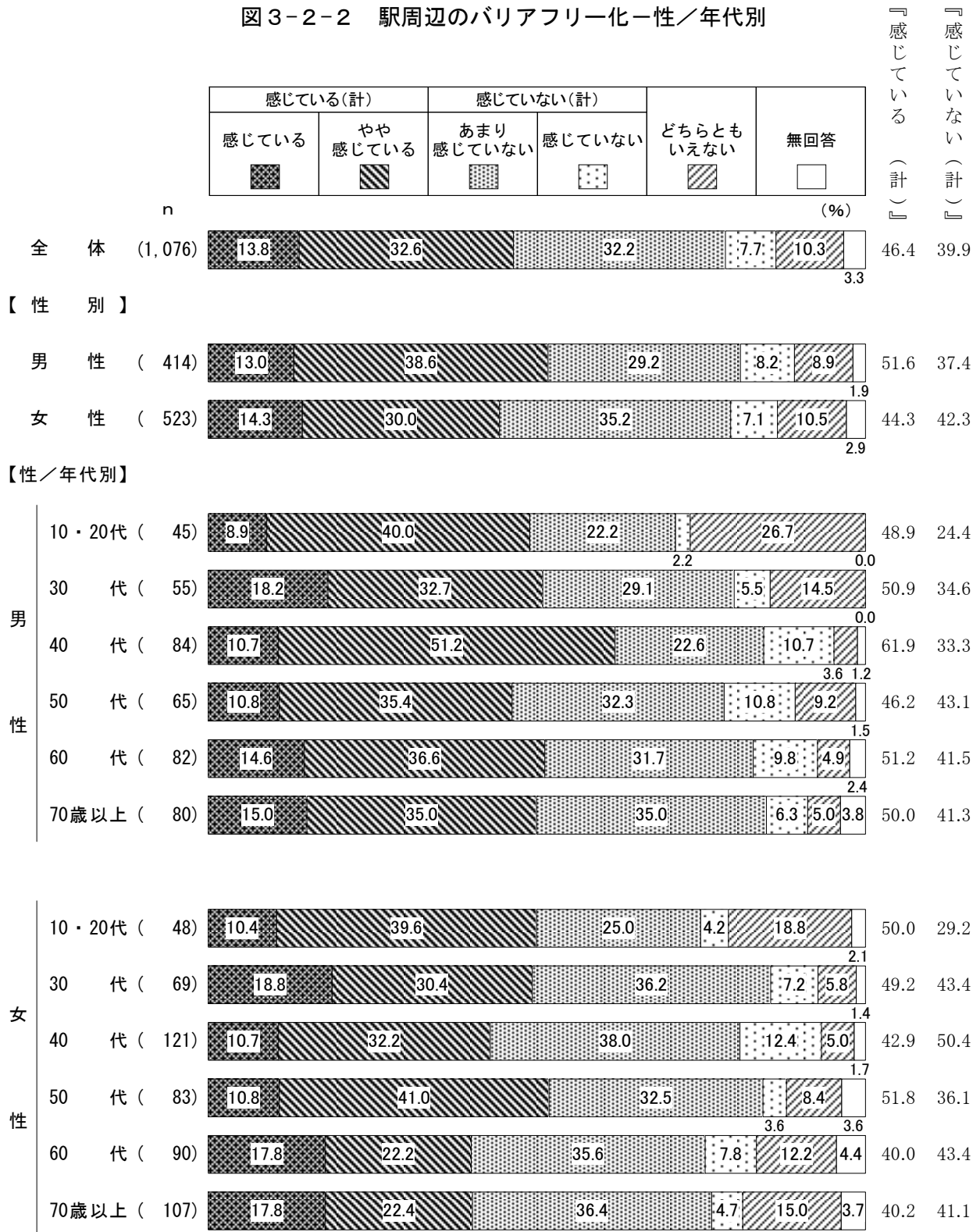
問7 駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じていますか。(○は1つだけ)

図3-2-1



駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じているか聞いたところ、「感じている」(13.8%)と「やや感じている」(32.6%)を合わせた『感じている(計)』(46.4%)は4割半ばとなっている。一方、「あまり感じていない」(32.2%)と「感じていない」(7.7%)を合わせた『感じていない(計)』(39.9%)は4割となっている。(図3-2-1)

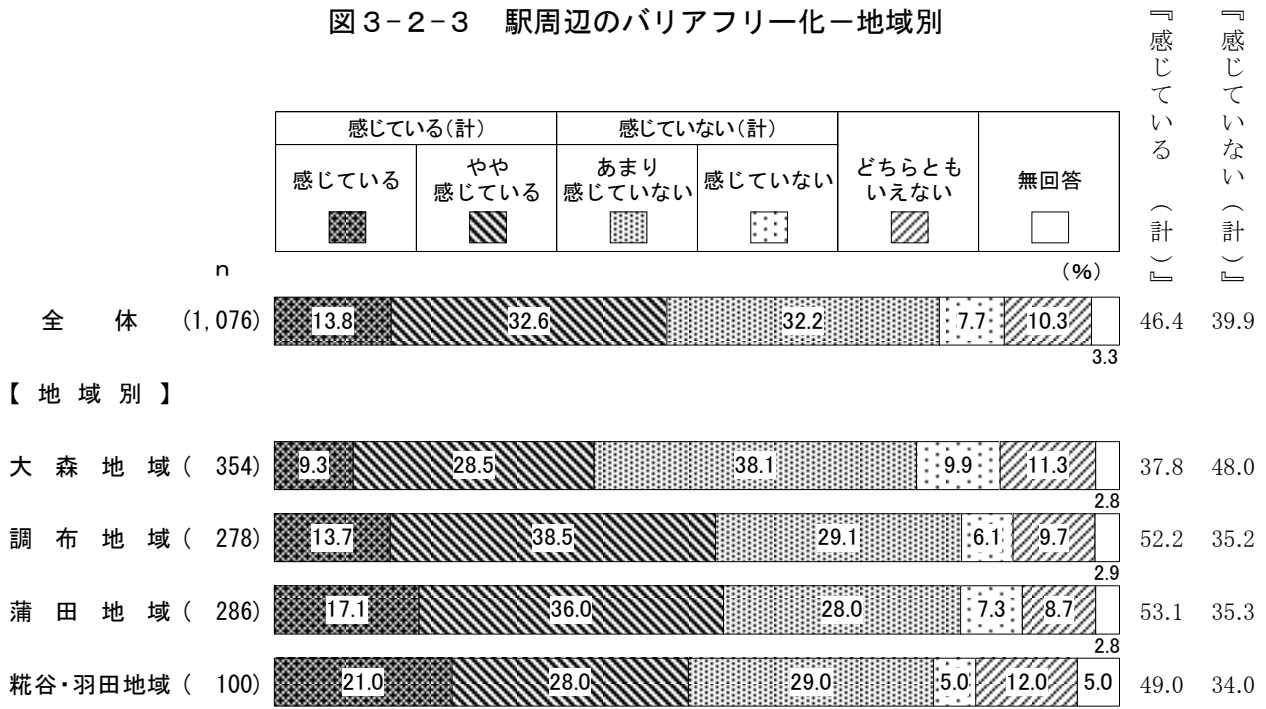
図 3-2-2 駅周辺のバリアフリー化—性／年代別



性別でみると、『感じている(計)』は男性(51.6%)が女性(44.3%)より7.3ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『感じている(計)』は男性40代(61.9%)で6割を超えて高くなっている。一方、『感じていない(計)』は女性40代(50.4%)で5割と高くなっている。(図3-2-2)

図 3-2-3 駅周辺のバリアフリー化—地域別



地域別でみると、『感じている(計)』は蒲田地域(53.1%)と調布地域(52.2%)で5割を超えて高くなっている。一方、『感じていない(計)』は大森地域(48.0%)で5割近くと高くなっている。(図3-2-3)